

## 2012年電波伝搬実験

d e J A 1 U P E

今年もやってしまった。参加局中での最遠長距離交信。毎年（3年連続）、遠長距離交信をやっていると感激が薄れてしまうのは贅沢というものか。あとは過去の記録を塗り変える様な交信が出来れば、、、、、、。

ここ箱根大観山は、いつ来ても電波を出すまでハラハラドキドキさせられる。箱根だけに手形が必要なのである。お代官様が変わってから、（箱根ターンパイクからT O Y O T I R E Sターンパイクに名称が変更された。ちなみに、道路がネーミングライツで名称変更されるのは、日本初である。）二種類の手形が必要になった。通行手形（道路通行料ともいう）と使用手形（無線使用料）である。特に、使用手形は、1日一個のみでありしかも早いもの勝ちだ。

小田原関所（小田原施設管理事務所）前でひたすら待つ。6時30ごろお役人様の入所を見計らい関所に飛び込む。ちなみに通行手形は、6時前から発行している。

「大観山駐車場で無線をやりたいので、手続きにきました」（私）

「今日は昼から催しが有るから駄目ですねえ」（役人）

「午前中だけです。いや10時半まででいいんですけど」（私）

「それなら許可します」（役人）

無線使用許可申請書と料金を支払い大観山に向かって車を走らせた。

大観山に到着し、駐車場に入ろうとしたら入口が封鎖されていた。近くに停車していたパトロールカーから警備員が近づいてきた。

「今日は、一般車は入れませんよ」と、高飛車な声。

「下で許可を貰って来ましたけど」と、無線使用許可書を見せた。

「それじゃ奥の端でやってください」

結局、伝搬実験中、駐車場は当局の車一台だけであった。移動各局の最良信号を探す為、広い駐車場（幅20m長さ200m位）をぐるぐると回る事ができた。

お陰で今まで出来なかった0エリアとも交信する事が出来た。

結果、冒頭の成績を収める事が出来た。忘年会での副賞が楽しみである。ただ、昨年以上の寄付も考えなければならないが。